

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-122527

(43)公開日 平成9年(1997)5月13日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
B 0 2 C 18/42	Z A B		B 0 2 C 18/42	Z A B Z
			21/00	C
E 0 3 C 1/266			E 0 3 C 1/266	Z
			1/284	

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平7-308266

(22)出願日 平成7年(1995)10月31日

(71)出願人 000000479

株式会社イナックス

愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地

(72)発明者 金子 順也

愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式  
会社イナックス内

(72)発明者 鈴木 雅喜

愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式  
会社イナックス内

(72)発明者 三輪 英二

愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式  
会社イナックス内

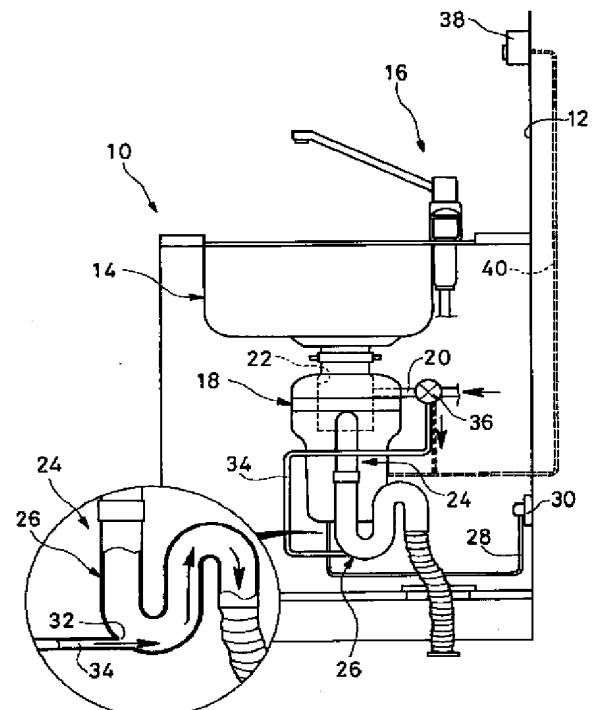
(74)代理人 弁理士 吉田 和夫

(54)【発明の名称】 生ゴミ処理装置

(57)【要約】

【解決課題】生ゴミの粉碎装置からの粉碎物がトラップ部に蓄積して腐敗臭を発生し、或いはトラップ部を閉塞してしまうのを防止する。

【解決手段】トラップ部26に洗浄水の噴出孔32を設けてその噴出孔32に対して、洗浄水を供給する供給管34を接続するとともに、供給管34を粉碎装置18への給水管20から分岐させ、その分岐部位に電磁切替弁36を設ける。そして電磁切替弁36によって流路を供給管34側に切り替え、供給管34を通じて噴出孔32からトラップ部26内に洗浄水を噴出させ、トラップ部26の内容物を配管下流側に吐出させる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 シンクの排水口下部に粉碎装置を設け、該排水口からの生ゴミを該粉碎装置にて粉碎した後、トラップ部を経由して排出するように成した生ゴミ処理装置において前記トラップ部に洗浄用水の噴出孔を設けるとともに、該洗浄用水の供給通路を前記粉碎装置への給水通路とは別途に設けて、該供給通路を該噴出孔に接続し、該供給通路を通じて供給した洗浄用水を該噴出孔より前記トラップ部内に噴出し、該噴出水の作用にて該トラップ部内の内容物を配管下流側に吐出させるように成したことを特徴とする生ゴミ処理装置。

【請求項2】 請求項1において、前記供給通路を前記粉碎装置への給水通路より分岐して延び出させるとともに該供給通路の分岐部位に、水の流れを該粉碎装置側又は前記トラップ部側に切り替える切替弁を設けたことを特徴とする生ゴミ処理装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明はキッチンにおいて生じた生ゴミを粉碎して処理する装置に関し、詳しくはトラップ部において生ゴミの粉碎物が蓄積するのを防止する手段に特徴を有するものに関する。

## 【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】従来、キッチンシンクの排水口下部に取り付けられ、投入された生ゴミを粉碎して排出する生ゴミの粉碎装置が知られている。図2はその粉碎装置を取り付けた状態を示したもので、この粉碎装置200をシンク202下部、具体的にはシンク202の排水口下部に取り付けておくと、厨房で発生した生ゴミをシンク202の排水口からシンク排水と共に排出するだけで、生ゴミをそのまま処理することができ、著しく便利である。

【0003】しかしながら一方でこのような粉碎装置200を用いて生ゴミの処理を行った場合、次のような問題も生ずる。即ち、生ゴミの中には卵の殻や貝殻、魚の骨等も含まれており、これらは比較的比重が大きいため、その粉碎物204が、粉碎装置200の下流側に設けられたトラップ部206内部に沈積して蓄積されてしまう恐れが生ずる。而してこのように卵の殻や貝殻等がトラップ部206内部に蓄積されてしまうと、それらが腐敗して異臭を放つようになり、或いはまたトラップ部206が閉塞してしまうといったことが心配される。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本願の発明はこのような課題を解決するために案出されたものである。而して本願の発明は、シンクの排水口下部に粉碎装置を設け、該排水口からの生ゴミを該粉碎装置にて粉碎した後、トラップ部を経由して排出するように成した生ゴミ処理装置において、前記トラップ部に洗浄用水の噴出孔を設けるとともに、該洗浄用水の供給通路を前記粉碎装置への給

水通路とは別途に設けて、該供給通路を該噴出孔に接続し、該供給通路を通じて供給した洗浄用水を該噴出孔より前記トラップ部内に噴出し、該噴出水の作用にて該トラップ部内の内容物を配管下流側に吐出させるように成したことを特徴とする（請求項1）。

【0005】本願の別の発明は、請求項1において、前記供給通路を前記粉碎装置への給水通路より分岐して延び出させるとともに該供給通路の分岐部位に、水の流れを該粉碎装置側又は前記トラップ部側に切り替える切替弁を設けたことを特徴とする（請求項2）。

## 【0006】

【作用及び発明の効果】上記のように請求項1の発明は、トラップ部に噴出孔を設けるとともに、洗浄用水の供給通路を粉碎装置への給水通路とは別途に設けてこれを噴出孔に接続し、その噴出孔から洗浄用水を噴出することによって、その水勢によりトラップ部の内容物を吐出させるようになったもので、本発明によれば、トラップ部内に卵の殻や貝殻等の粉碎物が蓄積され、それらが腐敗して異臭を放つようになるのを確実に防止することができ、また併せてその蓄積物によってトラップ部内が閉塞してしまうといったことを防止でき、生ゴミ粉碎装置による粉碎処理に伴って発生する不具合を解決することができる。

【0007】請求項2の発明は、上記供給通路を粉碎装置への給水通路から分岐して延び出させるとともに、その分岐部位に切替弁を設けて、その切替弁の切替作用で供給通路に洗浄用水を流すようにしたものである。本発明によれば、粉碎装置への給水及びトラップ部への洗浄用水の給水を切替弁の切替作用一つで行うことができ、粉碎装置の槽内の清掃と、トラップ部の清掃とを切替弁の切替作用一つで併せて行うことができ、また水の効率的利用を図ることができる。

【0008】ここで上記切替弁は電磁弁となすことができ、この場合にはスイッチ操作一つで電磁弁を働かせることができ、ひいてはトラップ部内の蓄積物を排出させて、その内部を綺麗に清掃することができる。

## 【0009】

【実施例】次に本発明の実施例を図面に基づいて詳しく説明する。図1において、10は流し台で壁面12に接して設置されている。流し台10にはシンク14が設けられており、また上面には流し台水栓16が取り付けられている。

【0010】シンク14の下部には、生ゴミの粉碎装置18がシンク排水口の直下に且つシンク排水口に連通する状態で取り付けられている。この粉碎装置18には給水管20が接続されており、この給水管（給水通路）20を通じて、粉碎装置18内部の槽22内に粉碎処理用の水が供給されるようになっている。即ちこの粉碎装置18は、槽22への水の供給下で生ゴミを粉碎し、排出部より粉碎物を水とともに排出する。

【0011】粉砕装置18からは排水用配管24が延び出しており、その途中部に排水トラップ部26が設けられている。トラップ部26は、内部に封水を保持して配管下流部からの臭気の逆流を防止するものである。尚、粉砕装置18からは電気コード28が延び出しており、その先端部分の差込プラグがコンセント30に差込接続されている。

【0012】上記トラップ部26には、トラップ部26内を洗浄するための洗浄用水の噴出孔32が設けられており、この噴出孔32に対して、洗浄用水を供給するための供給管（供給通路）34が接続されている。この供給管34は、上記給水管20から分岐して延び出しており、そしてその分岐部位に電磁切替弁36が設けられている。この電磁切替弁36は、水の通路を粉砕装置18側又はトラップ部26側に切り替えるものである。

【0013】流し台10の上方において、壁面12には操作部38が設けられており、その操作部38と粉砕装置18、電磁切替弁36とがリード線40にて電氣的に接続されており、その操作部38における操作に基づいて粉砕装置18が作動させられ、或いはまた電磁切替弁36が切替動作させられるようになっている。

【0014】本例における生ゴミの粉砕処理装置は、粉砕装置18に生ゴミを投入して給水管20から水を供給しつつ、粉砕装置18を働かせることにより、生ゴミを粉砕してその粉砕物を水とともにトラップ部26を経由して外部に排出する。

【0015】その際、排出部からの粉砕物の中には卵の殻や貝殻等比較的比重の大きいものがあるために、これらがトラップ部26の底部に沈積して蓄積する恐れがある。しかるに本例の生ゴミ処理装置の場合には、噴出孔32から洗浄用水を勢い良く噴出することによって、そのトラップ部26の内容物を配管下流側に向けて噴き飛ばすことができる。

【0016】本例の装置は、例えば次のような手順で生ゴミの粉砕処理を行う。先ず流し台10のシンク14の排水口を通じて粉砕装置18の槽22の内部に生ゴミを投入し、次いでシンク14の排水口蓋（図示せず）をセットした上で、操作部38の動作スイッチをオンにし、粉砕処理を開始させる。

【0017】このとき始めに電磁切替弁36は水の通路を粉砕装置18側に切り替えた状態となり、粉砕装置18の槽22内に粉砕処理用の水が供給される。これと併せて粉砕装置18のモータが回転を始め、粉砕を開始し、同時に粉砕物を連続的に排出する。

【0018】その粉砕物はトラップ部26を経由して外部に排出されて行く。このとき、粉砕物の中には卵の殻、貝殻や魚の骨等比較的比重の大きいものがあり、これらがトラップ部26の底部に沈積して蓄積する恐れがある。

【0019】そこで本例では生ゴミの粉砕がすべて終了

したところで、電磁切替弁36が水の通路を粉砕装置18側からトラップ部26側へと切り替え、ここにおいて供給管34に対して洗浄用水が供給されてトラップ部26の噴出孔32に送られ、洗浄用水が噴出孔32からトラップ部26内に勢い良く噴出される。これによりトラップ部26の内容物がトラップ部26から排出され、トラップ部26の内部が綺麗に清掃される。

【0020】トラップ部26側への洗浄用水の供給を所定時間行い、トラップ部26が綺麗になったところで、次に電磁切替弁36により再び粉砕装置18側へと水の供給が切り替えられ、ここにおいて粉砕装置18の槽22内に水が導かれて、槽22内が洗浄される。

【0021】その後粉砕装置18のモータが停止され、引き続いて粉砕装置18への給水が停止される。尚、上記の粉砕処理手順はあくまで1つの例に過ぎず、他の様々な手順によってこれを行うことも可能である。

【0022】以上のように本例の装置は、トラップ部26に噴出孔32を設けて、そこより洗浄用水を噴出させ、トラップ部26の内容物を噴き出させるようにしたもので、本例によれば、トラップ部26内に卵の殻や貝殻等の粉砕物が蓄積され、それが腐敗して異臭を放つようになるのを確実に防止することができ、また併せてトラップ部26内部が閉塞してしまうといったことを防止でき、生ゴミ粉砕装置による粉砕処理に伴って発生する不具合を解決することができる。

【0023】また本例の装置は、供給管34を粉砕装置18への給水管20から分岐させて、その分岐部位に電磁切替弁36を設けたことにより、粉砕装置18への給水及びトラップ部26への洗浄用水の給水を電磁切替弁の切替作用一つで行うことができ、従って粉砕装置18の槽22の清浄とトラップ部26への清浄とを切替弁の作用一つで併せて行うことができ、また水の効率利用を図ることができる。更に切替弁を電磁切替弁36としたことにより、スイッチ操作一つで電磁切替弁を働かせることができる。

【0024】以上本発明の実施例を詳述したがこれはあくまで一例示である。例えばトラップ部26における噴出孔32の位置は図1に示した位置に限定されるものではなく、最も効率的にトラップ部26の内容物が吐き出されるように適宜に噴出孔32の位置を選定することができる。また供給管34は上例以外の様々な形態で取り付けられることも可能であるなど、その主旨を逸脱しない範囲において種々変更を加えた形態で構成可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例である生ゴミ処理装置の要部拡大図を含む全体図である。

【図2】従来の生ゴミ処理装置の全体図である。

【符号の説明】

14 シンク

18 粉砕装置

5

6

20 給水管（給水通路）

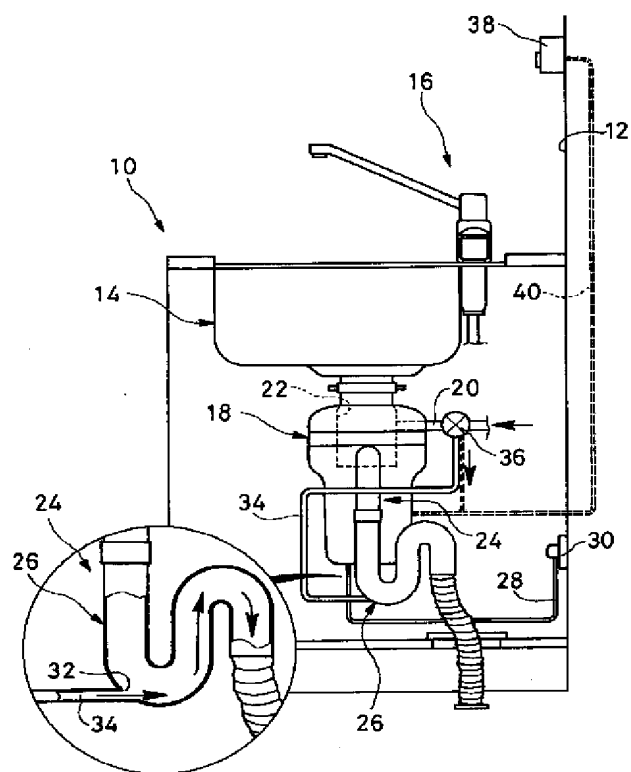
26 トラップ部

32 噴出孔

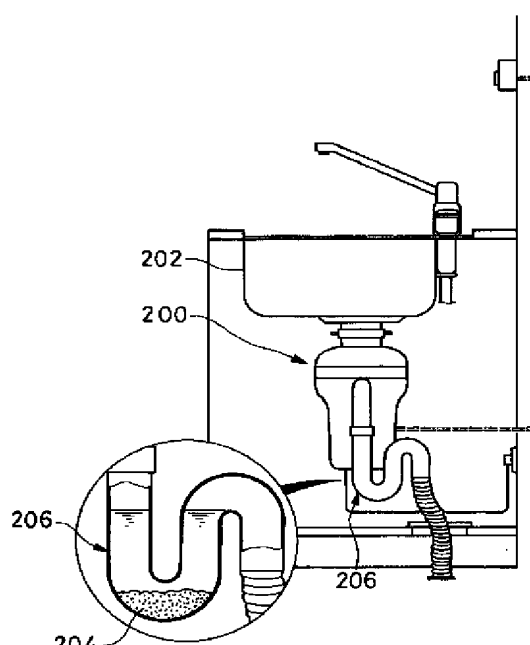
34 供給管（供給通路）

36 電磁切替弁

【図1】



【図2】



**PAT-NO:** JP409122527A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 09122527 A  
**TITLE:** GARBAGE DISPOSER  
**PUBN-DATE:** May 13, 1997

**INVENTOR-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
KANEKO, JUNYA	
SUZUKI, MASAKI	
MIWA, EIJI	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
INAX CORP	N/A

**APPL-NO:** JP07308266  
**APPL-DATE:** October 31, 1995

**INT-CL (IPC):** B02C018/42 , B02C021/00 ,  
E03C001/266 , E03C001/284

**ABSTRACT:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To prevent a pulverized material from a garbage pulverizer from being accumulated

in a trap part to cause putrid odor or from blocking the trap part.

SOLUTION: A jetting hole 32 for washing water is provided in a trap part 26. A supply pipe 34 for supplying washing water is connected to the jetting hole 32, and also the supply pipe 34 is branched from a water supply pipe 20 for supplying water to a pulverizer 18, and a solenoid switching valve 36 is installed at the branching part. By the solenoid switching valve 36, a flow passage is switched to the supply pipe 34 side to jet out washing water into the trap part 26 from the jetting hole 32 and discharge the content of the trap part 26 to the downstream side of piping.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO